

平成19年度 東濃地科学センター 業務概要



独立行政法人日本原子力研究開発機構
東濃地科学センター

写真：100mの予備ステージ

はじめに

1

日本原子力研究開発機構（原子力機構）では、原子力発電の使用済燃料から資源を回収した後に残る高レベル放射性廃棄物を安全に処分するための地層処分技術に関する研究を行っています。

東濃地科学センターでは、原子力機構の定めた中期計画に基づき、地層処分技術に関する研究開発のうち地層科学研究※を進めています。この研究では、瑞浪超深地層研究所を中心とした「超深地層研究所計画」及び火山、地震・活断層、隆起・侵食などの天然現象を対象とした「地質環境の長期安定性に関する研究」などを行っております。



東濃地科学センター
所長 大澤 正秀

これまで多くの研究成果をあげることができましたことは、地域の皆さまからのご支援の賜物であり、感謝申し上げます。今後とも地域の皆さまのご理解をいただきながら、安全を最優先し、周辺環境の保全に努めながら研究を進めるとともに、積極的に情報の公開をしてまいります。また、岐阜県が進める東濃研究学園都市構想の一翼を担う機関として、国内外に開かれた研究施設を目指してまいります。

※地層科学研究：高レベル放射性廃棄物を安全に処分するための地層処分技術に関する研究開発のうち、国の計画に示された深地層の科学的研究に相当するもので、地下の深い所が「どうなっているのか」、「なぜそうなったのか」、「これからどうなっていくのか」を知るための手法を確立する研究。

なお、この研究は放射性廃棄物を用いる研究ではありませんし、この地域を放射性廃棄物の処分場とするための研究でもありません。